PRESS RELEASE

報道関係各位

2026 年 4 月 20 日
ジオテクノロジーズ株式会社

ジオテクノロジーズ、地理空間 AI 基盤"GeoTechAgent™"を新規開発

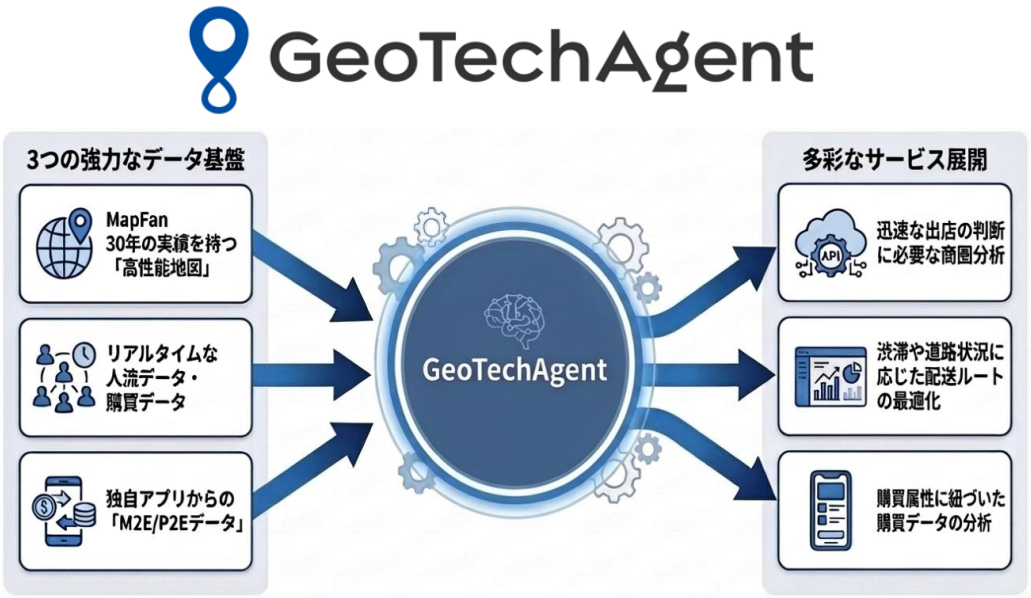
自律型 AI で目的別のエージェントを構築し、ユーザー独自の課題を解決

ジオテクノロジーズ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：八剱 洋一郎）は、地理空間 AI プラットフォーム「GeoTechAgent」を新たに開発し、目的や課題別に合わせた AI エージェントの提供を開始したことをお知らせします。

本プラットフォームは、当社が保有する地理空間データ、属性情報を伴った人流データ、購買データなどを活用し、空間や状況に応じた分析および意思決定支援を行うものです。小売業における出店判断のための商圏分析や、物流業における交通状況に応じた配送ルートの検討など、用途別の AI エージェントとしての活用を想定しています。

また、ジオ AI（地理空間情報×AI）に関する産学官の取組みを戦略的に加速するために開催される、国土交通省および内閣官房における「ジオ AI 研究会」に GeoTechAgent の資料を提供しました。

※地理空間情報：ジオ AI 研究会 - 国土交通省



■「GeoTechAgent」とは

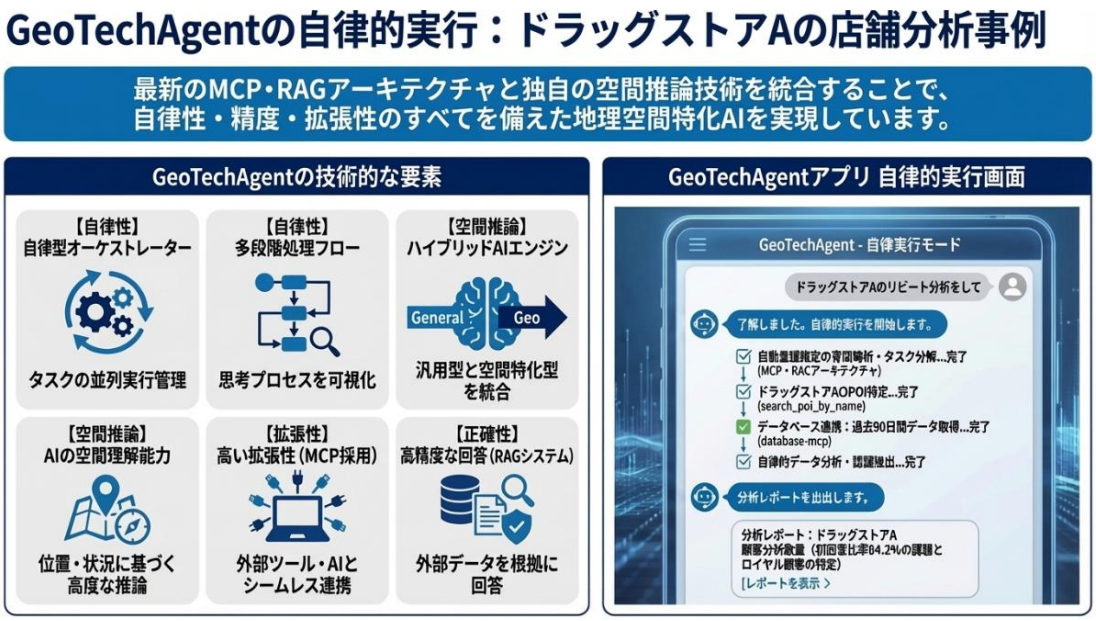
GeoTechAgent は当社が創業以来 30 年以上提供し続けている「地理空間データ」と、当社が提供する移動するだけでマイルが貯まる Move to Earn アプリ「トリマ」から取得する 1 日 10 億ログを超える「人流データ」、「購買データ」、撮った写真に価値がつく Photo to Earn アプリ「GeoQuest」から取得する「画像データ」などの「ダイナミックデータ」を構成要素とし、複数のシステムやデータを連携・統合しながら成長し続ける AI プラットフォームです。当社が保有する多層的なダイナミックデータを AI が自律的に分析し、複数のシステムやデータを連携、統合で

© 2026 GeoTechnologies, Inc.
※記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

きることで、これまで一般的な AI が得意としていた整理・分類・解析に加え、独自の付加価値を追加したソリューション提案が可能になります。

※GeoTechAgent はジオテクノロジーズの商標です。

＜GeoTechAgent の技術的な特長＞



GeoTechAgent は最新の MCP※1と RAG※2技術を採用し、正確性と拡張性を兼ね備えた自律型のオーケストレーター（複雑で大規模な情報システムの運用を自動化・効率化するシステム）です。特に、当社が保有する豊富な地理空間データとダイナミックデータを活用することで、一般的な AI にはない専門的な空間理解能力を発揮し、住所・座標・地形などの空間情報を正確に把握、場所と状況を組み合わせた高度な判断、移動経路や地域特性・地理的制約を考慮した分析を可能にしています。

また、ベクトルデータベース※3 を活用することにより、外部データを根拠とした正確性の高いアウトプットを生成し、AI の課題とされる「ハルシネーション（事実と異なる情報の生成）」を抑制します。AI の思考プロセスや実行過程を可視化し、どのような判断に基づいて結果が導き出されたのかを確認できるため、ユーザーは安心して各エージェントを活用することができます。

※1 MCP（Model Context Protocol Server）は、AI が外部ツールやデータソースと安全かつ標準的にやり取りするための仲介役です。

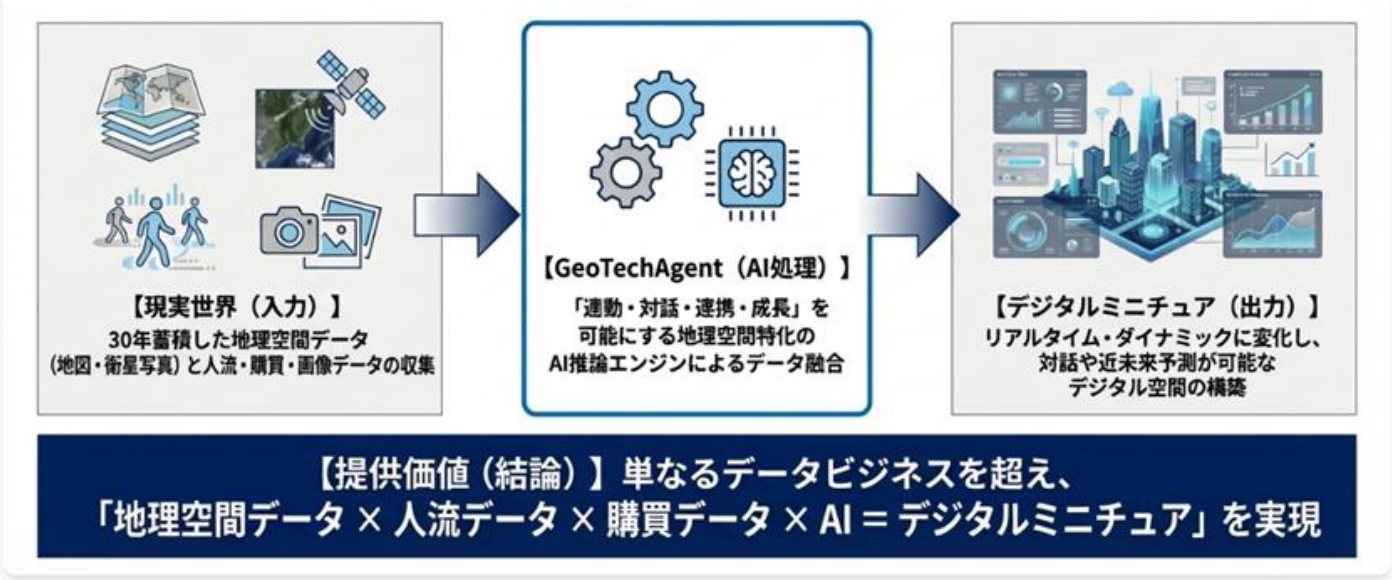
※2 RAG（Retrieval-Augmented Generation、検索拡張生成）は、AI が外部情報をベクトル検索して根拠をもとに回答を生成する技術です。

※3 ベクトルデータベースは、テキストや画像、動画などのデータをベクトル（数値の配列）に変換して保存し、内容の近さをもとに高速に検索するデータベースです。

© 2026 GeoTechnologies, Inc.
※記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

■ジオテクノロジーズのデジタルミニチュア構想

当社は、保有する「地理空間データ」と「ダイナミックデータ」を融合し、日本の「今」をデジタル上に再現すること、その実現を目指しています。私たちはその再現された世界を「デジタルミニチュア」と名付けました。デジタルミニチュアは、膨大なデータから目的に応じた「情報の取捨選択」と「時空間解像度」の自在な切り替えを可能にします。複雑な社会事象を最適な解像度で可視化することで、企業や人の迅速で正しい意思決定をサポートし、それぞれが抱える独自の課題解決に貢献してまいります。GeoTechAgent はこのデジタルミニチュア構想を実現する地理空間 AI プラットフォームです。



■ 開発担当 ジオテクノロジーズ デジタル DX 推進 CAIO（チーフ AI オフィサー）中村比呂記のコメント

従来の地図は建物や道路などの「静止情報」が主軸であり、イベントや混雑、災害といった「刻々と変わる街の表情」を即座に捉えるには限界がありました。情報過多な現代において、膨大な選択肢から最適解を見つけ出す負荷は増大しています。こうした背景から、都市の動態をリアルタイムに解析し、状況に即した意思決定を自律的にナビゲートする次世代の支援システムが必要とされました。今後は、この基盤上に、地理空間情報に特化した MCP サーバー、RAG サーバーや特化型 LLM・VLM を利用する AI エージェントを随時提供していきます。位置・時間・状況を理解する AI は、企業や自治体のサービスと連動することで、混雑回避や移動最適化、エリア価値の最大化などを自律的に実行します。各種のサービス高度化を技術面から強力にバックアップし、次世代の社会インフラ構築を支援していきます。

© 2026 GeoTechnologies, Inc.
※記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

■　移動するだけでポイントが貯まるアプリ「トリマ」について

ポイ活アプリ「トリマ」は、歩数だけでなく移動距離に応じてマイルが貯まるため、通勤や通学、お仕事など日常的に移動が多い方に最適なアプリです。歩数履歴や消費カロリーなどのヘルスケア機能も搭載しており、ポイ活しながら健康管理もできます。貯まったマイルは現金、PayPay マネーライト、Amazon ギフト券や V ポイントなどに交換できる他、森林保全団体や国境なき医師団への寄付が可能です。

■“撮った写真に価値がつく”ポイ活アプリ「GeoQuest（通称：ジオクエ）」とは

完全無料のアプリ「ジオクエ」では、街中にあるビルやコインパーキングなど様々な施設が「クエスト」として出題され、ユーザーは「クエスト」の場所に行き、現地の写真を撮影して投稿することでマイルがもらえます。貯めたマイルは Amazon ギフトカードや PayPay マネーライトなど 30 種類以上の他社ポイントや現金に交換できます※。また、企業・自治体の調査を請け負うユーザー参加型情報収集サービス「GeoQuest Connect、通称：ジオクエ Connect」も提供しています。

※　マイルの獲得・交換には、当社が提供するポイ活アプリ「トリマ」、またはポイントサイト「トリマ」との連携が必要です。

【ジオクエ　WEB サイト】：https://www.geo-quest.jp/

【ジオクエ Connect　WEB サイト】：https://www.geo-quest.jp/connect

■　ジオテクノロジーズ株式会社について

当社は、1994 年の創業から一貫してデジタル地図を提供しています。翌年には地図ソフト「MapFan」を発売。その後、国内初の i モード地図や、カーナビ、法人向けの地図データ、位置情報ソリューションをはじめ、高度な自動運転の実現に不可欠な AD/ADAS 用地図をいち早く提供しています。

また、2020 年にリリースしたポイ活アプリ「トリマ」に代表されるアプリケーションのユーザーとの接点により、人の移動やその背景にある意識といった現実世界の状況「インサイト」をリアルタイムで把握することが出来るようになってきています。

当社は、これらの人流をはじめとする膨大なビッグデータと、約 30 年間整備してきた地理空間データを掛け合わせて最先端技術を用いて分析することにより、「今この瞬間のインサイト」を提供し、より快適でサスティナブルな世界の実現という社会貢献を目指しています。

本 社 所 在 地：　東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス 22F
代　　表　　者：　代表取締役社長　　八剱 洋一郎
設　　立：　1994 年 5 月 1 日
事　業　内　容：　オートモーティブビジネス／エンタープライズビジネス／マーケティングビジネス／コンシューマービジネス
コーポレートサイト：　https://geot.jp/

© 2026 GeoTechnologies, Inc.
※記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。